

## 都市づくりNPOさいたま

### 1. 住環境保全のための活動

#### 1) 活動の背景

さいたま市の特徴の一つとして、住宅都市という側面がある。高度成長期に開発された良好な住宅地も多いが、そういうところでさえも居住者の高齢化に伴い、建築協定の期限切れ、敷地の細分化、木造3階建て住宅の乱立などの問題も発生してきている。

#### 2) 活動の経緯と目的

住環境の保全に関しては、住民主体の活動に頼らざるを得ない状況であるが、住民の意識は高くても専門的知識や経験不足の面があることから、NPOとして支援していくことを目的としている。

#### 3) 活動の内容

地域住民による住環境保全の動きがある地区を対象として、制度の解説、検討の進め方、などについてアドバイスを行っている。

#### 4) 活動の成果

平成14年度に2地区で活動を行った。

##### ・梅ノ郷地区

勉強会を開催したことにより、建築協定の期限切れ後の対応を検討している役員の間で地区計画に対する認識はかなり深まった。

##### ・天沼町地区

勉強会の開催や先進事例の現地視察によって、住環境を保全するための勉強の段階から地区計画策定に向けた実践の段階に移行しつつある。

#### 5) 今後の展開

##### ・梅の郷地区

役員の間での検討から地区住民全体での合意形成を図る必要がある。

##### ・天沼町地区

地区計画策定に向けた調査を行う予定である。

#### 6) 活動のポイント

NPOの存在が一般の市民にまだ知られていないことから、市の紹介によって支援を行っていくケースが多かった。

また、活動の際に市のコンサルタント派遣制度を有効に活用してもらった。

### 2. 見沼グリーンベルトの形成プロジェクト

#### 1) 活動の背景

見沼はさいたま市の東側に広がる田園地帯である。江戸時代に用水路が通されて以来、農地として開拓され、荒川の氾濫を防ぐ貯水機能も果たしてきたことから、高度成長期にも見沼三原則という保全策が打ち出され、身近な自然環境として守られてきた場所である。

#### 2) 活動の経緯と目的

都市づくりNPOさいたまの前身である任意団体「新世紀都市計画研究会」は新市合併の際に在住在勤の専門家の立場からまちづくりに関する提言を行うことを目的として設立し、2000年1月に提言書「政令指定都市ビジョン2000」を発表した。その中で旧3市の境界領域にまたがっていた見沼を一つの都市構造と

して形成していくこと、自然と共生した仕組みを作っていく場とすることを提言したことが活動の発端となっている。

都市づくり NPO さいたまの活動として、提言書の提案の継続的な取り組みとして見沼をとりあげることとした。見沼において、保全施策は自然環境を守る上で大きな役割を果たしてきていたものの、旧 3 市の境界域にあったこともあって部分的に土地利用の混乱が生じていたこと、また、一律保全の姿勢は地域の活力を削いでしまっていたことなどから、市民の貴重な財産として開発を行わずに活用していくことを目的として活動を行っている。

### 3) 活動の内容

#### ・勉強会の開催

見沼においては、様々な立場から様々な活動が行われてきている。また、現在も自然環境の保護、営農の継続、福祉的活動など、様々な活動が行われてきていることから、まずはそれぞれの取り組みについて勉強会として、過去の活動に関わった方から話を聞いた。

#### ・提案パネルの作成

見沼における活動の経緯をふまえた上で、これから取り組むべき点について「見沼田圃環境創造特区」「見沼水網再生計画とセントラルパーク」「見沼水の王国構想」という 3 点にまとめて、パネルを作成し、市の応募に提案した。

### 4) 活動の成果

勉強会の開催により、見沼の関係者とのネットワークが生まれてきた。

さいたま市が開催した「わたしが描く見沼田圃の将来（仮称）セントラルパーク」に「見沼田圃環境創造特区」「見沼水網再生計画とセントラルパーク」「見沼水の王国構想」の 3 点を応募してそのうち 2 点が優秀賞に入選した。

市が開催した「夢ある見沼」シンポジウムにパネリストとして参加し、提案の成果を報告した。

### 5) 今後の展開

一筋縄ではいかない大きなプロジェクトであるので、継続的に長く取り組む必要がある。

地域活動として見沼のあるべき姿の提案と施策の点検を行っていく予定。

### 6) 活動のポイント

本来の目的は長期的なものであるが、市民活動という立場で都市構造に関わる大きなレベルでの提案を行い、一定の評価を受けた点が平成 14 年度におけるポイントであった。

## 3. さいたま市まちづくりシステム研究

### 1) 活動の背景

市民参加のまちづくりの重要性が認識されてきて久しいが、さいたま市においては、合併という事情もあって、今後の市民参加のあり方を新たに模索しているところである。

### 2) 活動の経緯と目的

都市計画マスタープランの策定などにおけるまちづくりにおける市民参加のシステムのあり方を提案していくことを目的としている。

### 3) 活動の内容

旧 3 市における計画検討レベルから実際の事業レベルまでまちづくりに関わる市民参加の活動全般について実績の分析を行った。

### 4) 活動の成果

旧市における市民参加の取り組み状況にだいぶ違いがあることが分かった。

#### 5) 今後の展開

今後策定が予定されている都市計画マスタープランなどにおける市民参加の仕組みについて提案していく予定である。

#### 6) 活動のポイント

旧各市の取り組みを横断的に整理した点。

### 4. 彩の国さいたま人づくり広域連合「魅力あるまちづくり研修」

#### 1) 活動の背景

埼玉県内の行政の研修機関である自治人材開発センターが行政職員だけでなく、県民を対象としたまちづくりの研修を年に1回開催していた。

#### 2) 活動の経緯と目的

平成14年度の研修プログラムの検討にあたり、当初企画について意見交換を行ったことをきっかけとして企画運営に携わることとなった。

県職員、市町村職員、県民が同じテーブルについてまちづくりの検討を行う研修プログラムを開発することを目的とした。

#### 3) 活動の内容

川越市の中心市街地活性化という現場を題材としながら、理論面や技術面での講義、ワークショップの体験、現地調査、など多彩な内容を一通り体験するプログラムを実施した。

#### 4) 活動の成果

研修のアンケート結果では参加者からは概ね好評であった。

研修成果の冊子の配布など新たな取り組みも生まれた。

#### 5) 今後の展開

平成15年度も継続的に実施する予定。

#### 6) 活動のポイント

自治人材開発センターや外部協力チームである場助っ人との協力体制がうまく整っていた。

### 5. 埼玉住まい・まちづくり交流展2002への参加

#### 1) 活動の背景

建築学会埼玉支部開催のイベントである。

#### 2) 活動の経緯と目的

イベントの開催そのものが参加型の企画であったため、都市づくりさいたまとしても参加させてもらうことにした。

#### 3) 活動の内容

##### ・展示発表

見沼に関わる提案を展示発表した。

##### ・交流会の開催

参加者相互の交流会の開催について企画運営を行った。

#### 4) 活動の成果

県内各地で行われているまちづくり活動について情報提供、情報交換が行われた。

都市づくりさいたまのPRができた。

5) 今後の展開

平成15年度も発展的に実施する予定。

6) 活動のポイント

建築学会埼玉支部のオープンな運営にうまく乗ることができた。

6. 日光街道越谷宿大野家蔵再生・活用プロジェクト

1) 活動の背景

歴史的旧家である大野家の蔵が放置されてきたため、傷みがひどくなってきていた。

2) 活動の経緯と目的

地元で活動している越谷NPOセンターから建築、まちづくりの面から相談があったことがきっかけとなっている。

3) 活動の内容

建築の専門家も加わった見学会と意見交換会を開催した。

4) 活動の成果

補修などの取り組みについては費用や権利関係の調整からすぐには難しいことが明らかになった。

5) 今後の展開

イベント開催などによって、歴史的資産に愛着をもってもらう取り組みについては継続する予定。

6) 活動のポイント

異なる専門分野のNPOの連携がとれた点。

7. ヒアシンズハウス建設企画支援事業

1) 活動の背景

別所沼のある別所沼公園が政令市移行に伴い埼玉県管理からさいたま市管理に移行されることをきっかけに記念事業を市民が発案した。

2) 活動の経緯と目的

立原道造の構想したヒアシンズハウスを実現することを目的としている。

3) 活動の内容

建築実現のための、資金面、権利調整、管理運営に関わる調整。

4) 活動の成果

準備段階である。

5) 今後の展開

平成15年4月に「つくる集い」を開催予定で、市民による建築をめざしている。

6) 活動のポイント

市内の建築、美術、文芸関係者の協働の取組による。

8. さいたま市総合振興計画審議会への参加

1) 活動の背景

合併により誕生したさいたま市で総合振興計画の検討作業が始まったことによる。

2) 活動の経緯と目的

地元のまちづくり NPO として委員会に参加した。行政内部の計画とするのではなく、市民とともにつくる計画とするために参加した。

### 3) 活動の内容

委員会における意見表明とパブリックコメント時における意見提出を行った。

### 4) 活動の成果

市民の視点による計画立案に貢献した。

### 5) 今後の展開

計画は市が策定した。計画に反映された市民参加の部分の市民レベルからの実践。

### 6) 活動のポイント

委員会やパブリックコメントなどの多様な方法で意見を出した。

## 9. びん沼川の将来像づくりに関する調査

### 1) 活動の背景

旧荒川の河道であったびん沼川の河川改修工事が進む中で沿岸のあり方を考える機会があった。

### 2) 活動の経緯と目的

改修工事後に市民が環境整備を実施する余地があることが分かったことから、その可能性を明らかにすることを目的とした。

### 3) 活動の内容

改修工事の概要を把握し、その後の利用方法について河川管理者と協議を行った。

浦和水と緑を楽しむ会と共催でイベント的に見学会を開催した。

### 4) 活動の成果

市民による活用の自由度が意外と高いことが分かった。

### 5) 今後の展開

親水空間の整備などを市民の手で実践していく。

### 6) 活動のポイント

浦和水と緑を楽しむ会との連携によって市民参加型のイベントを開催できた。

## 10. 地域福祉計画市民研究会の企画運営

### 1) 活動の背景

市町村地域福祉計画の制度化がきっかけとなっている。

### 2) 活動の経緯と目的

さいたま NPO センターからの呼びかけにより、研究会に参加したことから、企画運営にも携わることとなった。

市町村福祉計画における市民参加のあり方を明らかにすることを目的としている。

### 3) 活動の内容

研究会の企画運営を実施した。

### 4) 活動の成果

研究会の実施による市民側からみた制度の理解が進んだ。

### 5) 今後の展開

各市町村における福祉計画立案への参加。

6) 活動のポイント

市民レベルでの連携。